

(様式7)

## 事業計画書目次

[ 旭 区 ]

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	チーム旭で進める満足度向上事業	662	662	700	700	△ 38	△ 38	
2	区民に身近で信頼される区役所事業	8,743	8,743	9,960	9,960	△ 1,217	△ 1,217	
3	旭区広報事業	2,779	2,563	3,035	2,819	△ 256	△ 256	
4	地域課題の解決に向けた市民協働推進事業	8,106	6,606	3,800	3,800	4,306	2,806	○
5	あさひ魅力発見事業	4,792	4,792	2,566	2,566	2,226	2,226	○
6	希望ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する検討	2,760	2,760	3,100	3,100	△ 340	△ 340	
7	商店街振興事業	300	300	300	300	0	0	
8	旭区の「農」の魅力PR事業	526	506	722	602	△ 196	△ 96	
9	水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業(国際園芸博覧会へ向けた機運醸成)	4,706	4,706	5,827	5,827	△ 1,121	△ 1,121	
10	自治会町内会活動支援事業	3,757	3,757	3,811	3,811	△ 54	△ 54	
11	旭ふれあい区民まつり	3,300	3,300	3,300	3,300	0	0	
12	「あさひくん」でつながる旭区の元気推進事業	1,251	1,251	960	960	291	291	○
13	街の美化運動事業	518	518	540	540	△ 22	△ 22	
14	災害に強い区づくり事業	12,182	12,182	11,369	11,369	813	813	○
15	地域安全安心普及推進事業	4,219	3,769	4,281	3,831	△ 62	△ 62	
16	交通安全対策事業	6,512	6,512	5,569	5,569	943	943	○
17	区民スポーツ事業	3,370	3,370	3,371	3,371	△ 1	△ 1	
18	文化芸術による心の豊かさ推進事業	5,784	5,784	5,792	5,792	△ 8	△ 8	

19	市民活動支援（みなくる）事業	1,363	1,363	1,363	1,363	0	0	
20	読書活動推進事業	329	329	300	300	29	29	
21	青少年健全育成事業	551	551	564	564	△ 13	△ 13	
22	一時託児サービス事業	963	963	974	974	△ 11	△ 11	
23	子育て支援情報提供事業	4,044	4,044	4,309	4,309	△ 265	△ 265	
24	子育て・若者支援事業	3,686	3,686	3,520	3,520	166	166	○
25	保育所地域子育て支援事業	5,806	5,778	5,839	5,802	△ 33	△ 24	
26	地域福祉保健計画事業	1,688	1,688	3,216	3,216	△ 1,528	△ 1,528	
27	地域のつながりに向けた民生委員の活動支援事業	3,682	3,682	3,203	3,203	479	479	
28	健康生活支援事業	2,668	2,668	2,783	2,783	△ 115	△ 115	
29	認知症をみんなでささえるまちづくり事業	1,365	1,365	1,308	1,308	57	57	○
30	高齢者生きがいづくり支援事業	856	856	865	865	△ 9	△ 9	
31	障害者ネットワーク推進事業	1,764	1,764	2,326	2,326	△ 562	△ 562	
32	DV対策事業	914	914	927	927	△ 13	△ 13	
33	安全で安心な食と生活環境支援事業	1,190	1,190	1,371	1,371	△ 181	△ 181	
	SDGs未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業	0	0	2,000	2,000	△ 2,000	△ 2,000	
	計	105,136	102,922	103,871	103,048	1,265	△ 126	

事業区課	旭区	総務課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	チーム旭で進める満足度向上事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	662	0	0	0		662
令和3年度	700	0	0	0		700
増△減	△38	0	0	0	0	△38

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算			
事業費	600	700	700
市債+一般財源	600	700	700
決算			
事業費	595	653	384
市債+一般財源	595	653	384

令和5年度	令和6年度	令和7年度
662	662	662
662	662	662

事業概要	<p>正確・迅速・丁寧で親しみやすいサービスの提供に向け、職員研修を実施するとともに、現場意見を生かした職場環境・事務改善の取組を実施し、お客様満足度および職員満足度の向上を図ります。</p>							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市人権啓発研修推進要綱、旭区人権啓発研修実施要領、旭区改革推進委員会設置要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼 チームあさひ							
事業目的・効果(必要性)	<p>区役所職員は、区民の方にとって横浜市の行政サービスの顔であり、対応の良し悪しが横浜市のイメージに直結する重要な役割を担っています。様々なニーズを抱えた区民の方に適切な対応ができるよう、区役所職員向けに対応マナー研修・人権研修を開催し、知識や対応スキルの向上を図ります。</p> <p>また、現場意見を生かして課を超えた横断的な職場環境・業務改善を行うことにより、区役所職員が生き生きと働くことのできる組織づくりを目指します。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口満足度調査結果(総合評価「満足」「やや満足」の割合) <ul style="list-style-type: none"> <li>【旭区】 平成29年度:97.7% 平成30年度:99.3% 令和元年度:98.3% 令和2年度:実施せず</li> <li>【全市】 平成29年度:97.2% 平成30年度:97.6% 令和元年度:99.0% 令和2年度:実施せず</li> </ul> </li> <li>改革推進委員会による旭区全職員向けアンケート(令和元年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>「改革推進委員会の活動が、旭区誕生50周年のPRにつながったと思いますか?」→そう思う/ややそう思うの合計90.0%</li> <li>「改革推進委員会の活動により、“チームあさひ”の力が高まったと思いますか?」→高まった/やや高まったの合計85.4% →平均87.7%</li> </ul> </li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
窓口サービス満足度調査(満足・やや満足)	単位	目標	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
	%	実績	98.0	実施せず				
改革・職員向けアンケートのプラス評価	単位	目標	80.0	実施せず	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	88.0	実施せず				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度：事業開始</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	CS向上事業	484	500	▲16	旅費・消耗品費の見直しによる減
	②	ES向上事業	178	200	▲22	旅費・消耗品費の見直しによる減
細事業合計			662	700	▲38	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	今市 明子	黒田 智子	田澤 麻由子

事業区課	旭区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民に身近で信頼される区役所事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,743	0	0	0		8,743
令和3年度	9,960	0	0	0		9,960
増△減	△ 1,217	0	0	0	0	△ 1,217

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	9,396	7,972	8,421
市債+一般財源	9,396	7,972	8,421
決算	7,941	8,320	16,568
市債+一般財源	7,941	8,320	16,568

令和5年度	令和6年度	令和7年度
8,743	8,743	8,743
8,743	8,743	8,743

事業概要	庁舎に関するお客様の要望や旭区改革推進委員会からの提言を受け止め、庁舎環境の改善やお客様サービスの向上を図る事業を実施します。
事業開始年度	平成17年度
根拠法令・方針決裁等	消防法、建築基準法、駐車場法、建築物の衛生的環境の確保に関する法律、高齢者・障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築促進に関する法律、横浜市駐車場条例
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼

事業目的・効果 (必要性)	区民にとって最も身近な行政機関である区役所は、刻々と変化し多様化するお客様のニーズを的確にとらえ、迅速に対応することが求められます。しかしながら、旭区総合庁舎は竣工から50年が経過しており、施設の老朽化が著しく、『市民からの提案』には区の対応に肯定的な意見がある一方、施設等の改善要望が多く寄せられています。そこで、お客様からの要望や旭区改革推進委員会からの提言を実現し、お客様が快適に利用できる区庁舎環境の充実を図る必要があります。
------------------	---

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望への対応実績</li> <li>【元年度】対応件数：25件 (主な実績) 庁舎照明のLED化、待合ロビーチェアの購入、スライド書庫の設置等</li> <li>【2年度】対応件数：68件 (主な実績) 庁舎照明のLED化、感染症予防対策、バイク走行禁止案内の設置、傘滴のりの設置等</li> <li>・オンライン実施回数</li> <li>【2年度】オンライン会議実施回数：250回（7～3月）</li> </ul>
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
環境改善対応件数	単位	目標	20	20	20	20	20	20	20
	件	実績	25	68					
オンライン実施回数	単位	目標	-	-	240	240	240	240	240
	回	実績	-	-					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	通年で実施
----------	-------

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区民ニーズ迅速対応事業	7,743	8,960	▲ 1,217	事業見直しによる減
	②	ICT環境整備事業	1,000	1,000	0	
細事業合計			8,743	9,960	▲ 1,217	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	今市 明子	藤井 晶子	植田 将裕

事業区課	旭区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	旭区広報事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,779	0	0	216		2,563
令和3年度	3,035	0	0	216		2,819
増△減	△ 256	0	0	0	0	△ 256

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	1,849	2,112	3,306
市債+一般財源	1,849	2,112	3,306
決算 事業費	1,473	1,606	2,772
市債+一般財源	1,473	1,436	2,675

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,779	2,779	2,779
2,563	2,563	2,563

事業概要	区民に向けて区・市等の各種事業を広報することで、区政に対する理解、協力を広げ、その円滑な推進を図ります。
事業開始年度	平成10年度
根拠法令・方針決裁等	横浜市インターネット情報受信ガイドライン、旭区WEBページ管理・運営要綱
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりの推進
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な行政情報を正確かつ速やかにお知らせする手段として、ホームページ・SNSを充実させる必要があります。</li> <li>年間1万人以上の転入者の旭区での生活の円滑なスタートのため、旭区便利帖さんさんガイド、区民生活・防災マップを配布しています。</li> </ul>

根拠・データ等	<p>【ホームページアクセス件数】</p> <p>30年度実績：約144万件/年、月平均約12万件  元年度実績：約201万件/年、月平均約17万件  2年度実績：約219万件/年、月平均約18万件</p> <p>【ツイッター】</p> <p>フォロワー数：1,363 (令和3年9月時点)  投稿頻度：1日1投稿</p>
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ホームページ アクセス件数	単位	目標	221	201	201	201	201	201	201
	万件	実績	201	219					
さんさんガイド 発行部数	単位	目標	20,000	0	20,000	0	20,000	0	20,000
	部	実績	20,000	0					
区民生活・防災 マップ発行 部数	単位	目標	0	28,000	0	28,000	0	28,000	0
	部	実績	0	28,000					

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ・ツイッター 通年で実施</li> <li>○さんさんガイド 隔年発行のため令和4年度は発行しません。</li> <li>○区民生活・防災マップ 7月～12月：校正作業 1月：発行準備 2月：発行</li> </ul>
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	Web広報事業	1,177	1,154	23	画像処理ソフトの数量及び単価の増
	②	旭区便利帖さんさんガイド発行事業	0	1,881	▲ 1,881	隔年発行による減
	③	旭区区民生活・防災マップ発行事業	1,602	0	1,602	隔年発行による増
細事業合計			2,779	3,035	▲ 256	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	蒲田 仁	城内 雅弘	上ノ宮 陽太

事業区課	旭区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域課題の解決に向けた市民協働推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,106	0	0	1,500		6,606
令和3年度	3,800	0	0	0		3,800
増△減	4,306	0	0	1,500	0	2,806

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,982	2,200	3,200	5,106	5,106	5,106
	市債+一般財源	2,982	2,200	3,200	5,106	5,106	5,106
決算	事業費	3,448	3,043	2,563			
	市債+一般財源	3,448	3,043	2,563			

事業概要	地域の課題解決やまちづくりにつながる活動に対する立ち上げや充実化を支援し、多様な主体の参画を促すことで、SDGsの目標達成につながるパートナーシップを推進します。
事業開始年度	平成29年度
根拠法令・方針決裁等	あさひのつながり応援補助金交付要綱
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「SDGs未来都市・横浜」 郊外部モデルの推進

事業目的・効果 (必要性)	<p>取組を通じて地域課題の解決に向けたパートナーシップが広がることで、持続可能なまちづくりを目指します。</p> <p>&lt;地域課題解決型パートナーシップ推進事業&gt; 旭区では人口減少や少子高齢化に伴い、様々な課題が顕在化している地域があります。その中でも大規模団地では、20年以上続く人口減少と超高齢化に伴う課題に対応するため、平成29年度から大規模団地再生に向けたモデル事業として、地域・企業・行政による協働のまちづくりを実施していました。また、平成30年に横浜市が「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、令和2年度に特設サイトを立ち上げ、SDGsの視点で様々なパートナーが連携し地域課題に取り組む先進事例を発信してきました。</p> <p>令和3年度で大規模団地再生事業が終了することを受けて、この事業で得られた成果を活かし、地域の課題に対して住民が自主的に進めている活動や住民だけで解決できない課題に対する取組について、企業や団体などの参画を促すことで、SDGsの目標達成につながるパートナーシップを推進します。</p> <p>&lt;あさひのつながり応援補助金&gt; 地域住民のつながりづくりなど、地域課題解決に向けた区民主体の活動の立ち上げを支援します。また、活動支援を通してSDGsの浸透を図ります。</p> <p>&lt;地域活動におけるICT活用支援&gt; 地域の課題解決やまちづくりについては、自治会町内会等の地域活動団体がその重要性を理解し自らが関与を深めることが重要です。そのためにICTを活用して地域活動団体の機能強化を図ります。</p>
------------------	---

根拠・データ等	<p>&lt;地域課題解決型パートナーシップ推進事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭区運営方針</li> <li>横浜市旭区大規模団地再生ビジョン（平成30年9月）</li> <li>旭区区民意識調査</li> </ul> <p>&lt;あさひのつながり応援補助金&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に実施した区民意識調査では、地域の住民同士が取り組むべきものとして、4割を超える人が「住民同士の交流や助け合いの促進」「高齢者や障害者などへのサポートや見守り、介護をしている人への支援」を挙げている。</li> </ul>
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域の課題に取り組むパートナー数	単位	目標	-	12	12	13	13	14	-
	個	実績	-	12					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<p>平成29年度 大規模団地再生事業開始</p> <p>平成30年度 横浜市が「SDGs未来都市」の選定を受けた（6月）</p> <p>令和2年度 SDGs特設サイト開設</p> <p>令和3年度 大規模団地再生事業終了、あさひのつながり応援補助金事業開始</p> <p>令和4年度 左近山団地の大学生による地域支援事業支援終了</p> <p>令和6年度 SDGsの取組について、2030年の目標達成に向けた事業の見直し</p>
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域課題解決型パートナーシップ推進事業	6,486	3,200	3,286	事業統合による増
②	あさひのつながり応援補助金	620	600	20	3年度実績に基づく増	
③	地域活動におけるICT活用支援	1,000	0	1,000	新規事業による増	
細事業合計		8,106	3,800	4,306		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	蒲田 仁	馬立 歳久	川井 未来

事業区課	旭区	区政推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	あさひ魅力発見事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,792	0	0	0		4,792
令和3年度	2,566	0	0	0		2,566
増△減	2,226	0	0	0	0	2,226

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	2,700	2,116	3,416
市債+一般財源	2,700	2,116	3,416
決算	2,424	1,808	3,035
市債+一般財源	2,424	1,808	3,035

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,042	4,042	4,042
4,042	4,042	4,042

事業概要	「あさひの逸品」認定商品のPR、旭区の魅力・ライフスタイル等の発信に向けた支援、文化・観光スポットの整備等、旭区の魅力を発見・発信又は支援し、愛着度向上及び経済活性化を目指します。								
事業開始年度	平成27年度								
根拠法令・方針決裁等	旭区あさひの逸品選定要綱								
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりの推進								
事業目的・効果(必要性)	<p>本事業は、区民の皆様へ、より区への愛着を持っていただくことを目的に、旭区の魅力を発見・再認識できるよう様々な視点で細目事業を構成し展開してきました。今後も、旭区の魅力がより幅広い層に認識され愛され続けるよう、各ターゲットに響く事業を継続していく必要があります。</p> <p>&lt;あさひの逸品事業&gt;平成27年4月1日に施行された「横浜市商店街の活性化に関する条例」を踏まえ、商店街の活性化に関する取組を推進し、地域経済及び地域コミュニティの発展へ寄与することを目的としています。</p> <p>&lt;旭区魅力・ライフスタイル等発信事業&gt;若い世代の転入につなげるとともに定住意向を高めることで、区全体の定住意識の向上につなげることを目的としています。相鉄線の都心直通等のまちづくりの動きを好機とし、特に子育て世代をターゲットに、旭区の魅力やライフスタイルを発信していきます。</p> <p>&lt;あさひ文化観光資源発信事業&gt;ウォーキングルートに標柱を整備し、史跡案内を行っていますが、よりウォーキングを充実させるため標柱の整備(点検・修繕)をする必要があります。また、2022年NHK大河ドラマに旭区ゆかりの武将、畠山重忠が登場することを契機に魅力発信に向けた取組を実施します。</p>								
根拠・データ等	<p>&lt;あさひの逸品事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に実施した市民意識調査では、商店街の振興に対して充実すべきとの区民の回答が他の項目と比べて高い。(今後、充実すべき公共サービス 商店街の振興：22.3%)</li> </ul> <p>&lt;旭区魅力・ライフスタイル等発信事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度の市民意識調査では、定住意向が18区中最も高い(「住み続ける」「たぶん住み続ける」合計76.7%)。市全体の年代別の定住意向は、年齢が高いほど定住意識が高くなっている。</li> </ul> <p>&lt;あさひ文化観光資源発信事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に実施した旭ガイドボランティアの会ガイドでは、合計561人が参加</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
市民意識調査 商店街の振興 満足度	単位	目標	-	-	3.3	3.5	3.7	3.9	4.1
	%	実績	2.3	3.1					
市民意識調査 定住意向	単位	目標	-	70.0	77.0	77.0	-	-	-
	%	実績	68.2	76.7					
	単位	目標							
	件	実績							
事業スケジュール	<p>&lt;あさひの逸品事業&gt;平成27年度：事業開始、平成30年度：冊子改定</p> <p>&lt;旭区魅力・ライフスタイル等発信事業&gt;令和2年度：事業開始、冊子制作 3年度：効果検証 4年度：全国紙へ掲載、終了</p> <p>&lt;あさひ文化観光資源発信事業&gt;平成27年度：事業開始</p>								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	あさひの逸品事業	938	1,240	▲302	冊子改定時期の精査による減
②	旭区魅力・ライフスタイル等発信事業	750	500	250	全国紙への掲載による費用増	
③	あさひ文化観光資源発信事業	3,104	826	2,278	畠山重忠啓発事業実施のため増	
細事業合計			4,792	2,566	2,226	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	蒲田 仁	松永 崇	長谷川 哲史

事業区課	旭区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	希望ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する検討					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,760	0	0	0		2,760
令和3年度	3,100	0	0	0		3,100
増△減	△ 340	0	0	0	0	△ 340

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費		2,500	3,000	0	0	0
算 市債+一般財源		2,500	3,000	0	0	0
決 事業費		2,384	2,475			
算 市債+一般財源		2,384	2,475			

事業概要	相鉄・JR直通線開業や国際園芸博覧会の開催など、周辺のまちづくりの大きな動向を踏まえ、これまで具体的な動きのなかった希望ヶ丘駅周辺のまちづくりを進めます。						
事業開始年度	令和元年度						
根拠法令・方針決裁等	地域まちづくり推進条例						
運営方針等との関連	横浜市都市計画マスタープラン 旭区プラン						

事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望ヶ丘駅は「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」に生活拠点駅と位置づけ、まちづくりの方針を定めていますが、まちづくりに関しての動きは具体的でない状況です。しかしながら、希望ヶ丘駅を取巻く周辺環境は相鉄・JR直通線の開業や旧上瀬谷通信施設のまちづくりの検討など変化が生じてきています。</li> <li>地域における課題解決やまちの魅力向上に向けて、地域が主体となって進める取組を支援します。</li> </ul>						
------------------	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市都市計画マスタープラン 旭区プラン、地域まちづくり推進条例</li> <li>希望ヶ丘駅周辺における人・まちづくりの推進に関する調査業務報告書</li> </ul>						
---------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちづくり 検討	単位	目標	まちの現状調査	まちづくり 目標検討	将来像の検討	将来像の決定		-	-
		実績	まちの現状調査	まちづくり 目標検討					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度 人口推計等のデータ分析や地域の活動団体へのヒアリングを通じた地域課題の整理</li> <li>令和2年度 ワークショップを実施し（新型コロナウイルス感染症のため人数を制限）、まちづくりの方向性・目標・取組の骨子案の作成</li> <li>令和3年度 昨年度よりも多くの方が参加できるワークショップを企画し、まちの将来像と取組（構想）の検討</li> <li>令和4年度 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつワークショップを実施の上、まちの将来像と取組（構想）を確定し、まちづくりグループとともに実現に向けた取組に移行</li> </ul>						
----------	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	基礎調査委託		2,760	3,100	▲ 340
	細事業合計		2,760	3,100	▲ 340	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	まちづくり調整担当
	蒲田 仁	齋藤 優太	林田 恵



事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	商店街振興事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	300	0	0	0		300
令和3年度	300	0	0	0		300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	300	600	300	300	300	300
	市債+一般財源	300	600	300	300	300	300
決算	事業費	300	600	462			
	市債+一般財源	300	600	462			

事業概要	旭区の商店街を区民や来街者に広く周知し、商店街振興を推進します。								
事業開始年度	平成28年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市商店街の活性化に関する条例、横浜市中小企業振興基本条例								
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進								
事業目的・効果 (必要性)	旭区の商店街を区民や来街者に広く周知し、商店街振興を推進します。また、旭区商店会連合会に未加入の商店街があることも課題と考えています。								
根拠・データ等	【旭区商店会連合会加盟店舗数】 25年度471店、26年度422店、27年度421店、28年度409店、29年度409店、30年度363店、元年度331店、令和2年度322店								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
商店街PR動画 の視聴数	単位	目標	-	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500
	回	実績	-	1,000					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	ホームページや冊子での広報（通年） 冊子更新（通年）								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	広報事業	300	300	0	
	細事業合計		300	300	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	中村 一己	野田頭 由佳	米山 水樹 係

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	旭区の「農」の魅力PR事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	526	0	0	20		506
令和3年度	722	0	0	120		602
増△減	△ 196	0	0	△ 100	0	△ 96

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	750	722	722	526	526	526
	市債+一般財源	630	602	602	506	506	506
決算	事業費	742	694	587			
	市債+一般財源	622	574	547			

事業概要	地場野菜の直売及び野菜収穫体験や農業体験を通じ、区内農業を広く周知するとともに地産地消を推進します。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進							
事業目的・効果 (必要性)	農を身近に感じ暮らしに定着させるとともに、区民の区内農業への関心向上、地産地消の推進が求められています。そのため、区民が農を楽しむ支援する取組や地産地消にふれる機会の提供が必要です。区民が身近に農を感じる場を作ることで、旭区の農の魅力PR、地域の活性化につなげていきます。							
根拠・データ等	旭区には、市内の緑の7大拠点のうち3拠点(大池・川井・矢指)があり、経営耕地面積は18区中9位です。(令和2年1月1日固定資産概要調書より) また、区内の農家数は18区中7位の312戸(平成27年度)と農業が盛んです。(2015年農林業センサスより)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
収穫体験 参加者満足度	単位	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	96.0	中止				
農業体験 参加者満足度	単位	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	80.0	100.0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	地場野菜直売の開催のほか、収穫体験、農業体験を実施。適宜、地産地消についての情報提供やPRを実施 令和2年度：広報よこはま旭区版に農コラム投稿 令和3年度：あさひの朝市を区民利用施設で初開催 令和4年度：農業体験事業の事業手法を見直し実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地産地消推進事業(あさひの朝市)	90	72	18	開催回数による増
	②	地場野菜収穫体験事業	76	82	▲ 6	昨年度実績による減
	③	農業体験事業	360	568	▲ 208	農業体験内容変更による減
細事業合計			526	722	▲ 196	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	富岡 幸世	中村 祐太

事業区課	旭区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業（国際園芸博覧会へ向けた機運醸成）					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,706	0	0	0		4,706
令和3年度	5,827	0	0	0		5,827
増△減	△ 1,121	0	0	0	0	△ 1,121

歳出	令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	1,472	4,123	4,742	4,706	4,706	4,706
算 市債+一般財源	1,472	4,123	4,742	4,706	4,706	4,706
決 事業費	1,189	3,799	4,451			
算 市債+一般財源	1,189	3,799	4,451			

事業概要	水と緑に恵まれた旭区の特性を生かした取組や温暖化対策に貢献する暮らしを推進して、「ふるさと旭」の魅力を高めます。また、花いっぱい事業を通して魅力あるきれいな街づくりを推進します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市地球温暖化対策実行計画							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりの推進							
事業目的・効果 (必要性)	旭区は、緑の10大拠点のうち3つの拠点が所在し、区を中心を帷子川が流れているなど豊かな自然環境を有しています。平成30年度の区民意識調査においても、多くの方が区内の水・緑に親しんでいることが伺えます。今後もより多くの方が自然に親しむことができる機会をすることにより、区への愛着を醸成する必要があります。 本市では、横浜市地球温暖化対策実行計画に基づき温室効果ガス排出量削減に取り組み、排出を抑制する「緩和策」と、環境変化に対処する「適応策」に取り組む必要があります。また、部門別二酸化炭素排出量では、全国と比較すると本市は家庭部門の占める割合が大きく、区民一人ひとりが温室効果ガス削減に取り組む必要があります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ホテルの舞う里づくり ホテルの自生を目指す地区 2地区</li> <li>■平成30年度旭区民意識調査 住みやすさの点として、約45%の回答者が「緑（公園）が多い」を挙げ、生活環境では、約61%の回答者が「公園・水辺の遊び場・緑地の整備」に「満足・やや満足」を選択している。</li> <li>■家庭部門が占める二酸化炭素排出量の割合 本市：24.8%、全国：14.4%（ともに2019年度速報値）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ホテルの自生を目指す地区	単位	目標	1	2	2	2	2	2
	地区	実績	1	1				
環境学習参加人数	単位	目標	300	350	350	350	350	350
	人	実績	306	355				
自治会町内会配布数	単位	目標	23,000	26,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	ポット	実績	22,872	23,088				
事業スケジュール	<p>&lt;ホテルの舞う里づくり&gt;平成18年度：事業開始、18年度に若葉台、令和2年度に旭北地区でも事業開始し現在2地区で実施          &lt;ふるさとの川環境学習&gt;平成19年度：事業開始、令和2年度：オンライン授業実施          &lt;温暖化対策推進&gt;平成19年度：事業開始、令和2年度：講座動画をオンラインにて配信          &lt;緑のカーテンづくり推進&gt;平成18年度：事業開始          &lt;横浜国際園芸博覧会へ向けた機運醸成&gt;令和3年度：事業開始          &lt;花いっぱい事業&gt;平成6年度：事業開始</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ホテルの舞う里づくり	143	280	▲ 137	実績に基づく報償費等の減
	②	ふるさとの川環境学習	364	320	44	実施校数増による報償費の増
	③	温暖化対策推進	144	705	▲ 561	撮影委託を行わないことによる減
	④	緑のカーテンづくり推進	700	632	68	対象人数・園数増による消耗品費の増
	⑤	横浜国際園芸博覧会へ向けた機運醸成	50	50	0	
	⑥	花いっぱい事業	3,305	3,840	▲ 535	局予算活用による消耗品費の減
	細事業合計		4,706	5,827	▲ 1,121	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	蒲田 仁	松永 崇	長谷川 哲史

事業区課	旭区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	自治会町内会活動支援事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	3,757	0	0	0			3,757
令和3年度	3,811	0	0	0			3,811
増△減	△ 54	0	0	0	0	0	△ 54

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	3,241	3,811	3,811	3,757	3,757
市債+一般財源	3,241	3,811	3,811	3,757	3,757	3,757
決算	事業費	3,027	2,859	2,860		
市債+一般財源	3,027	2,859	2,860			

事業概要	行政と地域住民を結ぶ基礎的な自主的任意組織である自治会町内会と行政との円滑な連携の構築を図り、自治会町内会活動を区民に対しPRすることにより、活動の活性化や自治会町内会への加入促進を図ります。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	旭区地域活動のつどい功労者表彰実施要綱、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰要綱、旭区自治会町内会長永年在職者表彰要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 つながりによるチャレンジ							
事業目的・効果(必要性)	約240ある自治会町内会のうち、毎年半数近い自治会町内会が役員交代を行っており、十分な引継ぎがないことによる事業の遅れなどの課題があります。また、旭区では高齢化が進んでおり、役員のなり手が不足している自治会町内会も見受けられるため、表彰制度による自治会町内会員の意欲向上や、加入促進に資する支援をする必要があります。							
根拠・データ等	旭区内自治会町内会数 地区連合自治会町内会：19団体 単位自治会町内会：236団体							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会町内会加入率	単位	目標	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0
	%	実績	78.0	76.8				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域活動のつどい：自治会町内会の役員（会長除く）を永年務められた方々への功労者表彰式を実施します（令和4年12月）。</li> <li>自治会町内会長感謝会：自治会町内会長の職を永年務められた方々への功労者表彰式を実施します（令和5年3月）。</li> <li>自治会への依頼物品配送費：旭区連合自治会町内会連絡協議会定例会で承認を受けた配布物を、「自治だより」として各自自治会町内会に配送します。</li> <li>加入促進のPR：転入者への配布物等を作成し、自治会町内会活動のPR等を行い、自治会町内会への加入促進を図ります。</li> </ol>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域活動のつどい		176	180	▲ 4
②	自治会町内会長感謝会		1,116	1,126	▲ 10	昨年度実績による消耗品費の減
③	自治会への依頼物品配送費		2,105	2,105	0	
④	加入促進のPR		360	400	▲ 40	昨年度実績による消耗品費の減
細事業合計			3,757	3,811	▲ 54	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	中村 一己	野田頭 由佳	佐藤 和徳

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	旭ふれあい区民まつり					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,300	0	0	0		3,300
令和3年度	3,300	0	0	0		3,300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度			令和2年度		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	3,300	3,800	3,300	3,300	3,300	3,300
決算	3,300	3,800	3,830	3,300	3,300	3,300

事業概要	旭ふれあい区民まつりを開催し、行政や区民団体の活動PRの場を設け、区民とのふれあいと旭区の魅力の再発見と、ふるさと意識の高揚を図り、地域の連帯感を強め、行政と区民が協働する魅力的な街づくりを目指します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	旭ふれあい区民まつり補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進							
事業目的・効果 (必要性)	旭ふれあい区民まつりを開催し、行政や区民団体の活動PRの場を設け、区民とのふれあいと旭区の魅力の再発見と、ふるさと意識の高揚を図り、地域の連帯感を強め、行政と区民が協働する魅力的な街づくりを目指します。 少子・高齢化、核家族化の進行を背景に、地域の担い手が不足するなど、地域への愛着心を高め、コミュニティの活性化を図る必要が生じています。多くの区民が旭区に暮らし続けたいと思うような、ふるさと意識を高める必要があります。							
根拠・データ等	【旭ふれあい区民まつり実行委員会が提出する事業完了報告書・事業決算書に基づく】 来場者数実績 27年度 55,000人 28年度 55,000人 29年度 55,000人 30年度 55,000人 元年度 55,000人 2年度 オンラインフェスティバル開催							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
来場者数	単位	目標	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
	人	実績	55,000	中止				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	6月：実行委員会開催 7月：補助金申請 8月：補助金交付 10月：区民まつり開催 3月：精算報告							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	旭ふれあい区民まつり	3,300	3,300	0	
細事業合計		3,300	3,300	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	米山 水樹

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	「あさひくん」でつながる旭区の元気推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,251	0	0	0		1,251
令和3年度	960	0	0	0		960
増△減	291	0	0	0	0	291

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	822	1,172	1,080	1,251	1,251	1,251
	市債+一般財源	822	1,172	1,080	1,251	1,251	1,251
決算	事業費	819	1,134	987			
	市債+一般財源	819	1,134	987			

事業概要	旭区マスコットキャラクター「あさひくん」を通じ、旭区と区民のつながりを深めるとともに旭区の魅力の再発見につなげるため、着ぐるみ・画像データの貸出及び啓発や広報よこはまでの情報発信等を行います。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	「旭区マスコットキャラクター あさひくん」図形使用取扱要綱 「旭区マスコットキャラクター あさひくん」着ぐるみ貸出要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進							
事業目的・効果(必要性)	「あさひくん」を通じ、自然豊かで温もりあるコミュニティが育まれている旭区の魅力を積極的に発信し、子育て世代を始め多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現を目指します。 感染対策を踏まえた新たな啓発方法を検討し、「あさひくん」を区内外に広め、旭区への関心やふるさと旭への愛着をより一層高めます。							
根拠・データ等	平成20年、旭区誕生40周年を記念し、旭区マスコットキャラクター「あさひくん」が誕生 貸出件数 ※令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により着ぐるみ貸出しを制限中 令和2年度 画像：39件 着ぐるみ：9件 令和元年度 画像：49件 着ぐるみ：49件							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
画像データ貸出件数	単位	目標	80	80	60	60	80	80
	件	実績	86	39				
着ぐるみ貸出件数	単位	目標	40	40	20	20	40	40
	件	実績	49	9				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・平成24年：事業開始以降、着ぐるみ及び画像データの貸出し及び啓発活動を実施しています（通年）。							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	貸出事業	220	220	0	
	②	普及啓発事業	1,031	740	291	新たな啓発手法検討・導入による増
細事業合計			1,251	960	291	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	富岡 幸世	横田 華世

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	街の美化運動事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	518	0	0	0		518
令和3年度	540	0	0	0		540
増△減	△22	0	0	0	0	△22

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	3,468	699	704	518	518	518
	市債+一般財源	3,468	699	704	518	518	518
決算	事業費	3,173	526	568			
	市債+一般財源	3,173	526	568			

事業概要	区民・事業者・行政が協働して、地域清掃活動や不法投棄防止対策を実施し、清潔できれいな街づくりを推進します。また、土壌混合法の普及啓発を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱防止に関する条例・同施行規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	<p>「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、きれいなまちづくりやリデュース（発生抑制）の取組を進めます。</p> <p>旭区ではボイ捨て及び不法投棄が後を絶たないため、美化推進重点地区を中心に地域と連携した美化活動を行い、ごみを捨てづらい環境整備に向けてきれいなまちづくりを推進していく必要があります。清掃活動を市民に公開することにより環境美化推進の啓発にもつながります。</p> <p>また、土壌混合法の普及啓発を実施し、各家庭における生ごみの減量につなげます。</p>							
根拠・データ等	<p>■旭区区民意識調査（ごみ対策（分別・リサイクル・不法投棄など）への満足度）</p> <p>「満足」「やや満足」と回答した割合：平成23年度50.6%、平成26年度54.0%、平成30年度55.5%</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
美化推進重点地区清掃実施回数	単位	目標	12	12	12	12	12	12
	回	実績	9	6				
夜間パトロール回数	単位	目標	5	5	5	5	5	5
	回	実績	4	4				
土壌混合法講習会参加者(区役所)	単位	目標	55	55	55	55	55	55
	人	実績	45	30				
事業スケジュール	清潔できれいな街づくりの推進を通年で実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	街の美化清掃	136	158	▲22	必要性の精査による消耗品費等の減
	②	不法投棄防止対策	328	328	0	
	③	土壌混合法普及啓発事業	54	54	0	
	細事業合計		518	540	▲22	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	田村 修	三浦 正	樋口 智子



事業区課	旭区	総務課		新規拡充	□ 新規 ■ 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費					
歳出予算科目	一般会計	3	2	1	目		
事業名称	災害に強い区づくり事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	12,182	0	0	0		12,182
令和3年度	11,369	0	0	0		11,369
増△減	813	0	0	0	0	813

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	予算	5,981	10,131	10,208	12,182	12,182
市債+一般財源	5,981	10,131	10,208	12,182	12,182	12,182
決算	5,402	10,407	10,958			
市債+一般財源	5,402	10,407	10,958			

事業概要	地域防災団体及び区役所の災害対応力の向上を目的とし、各種防災施策を実施します。						
事業開始年度	平成7年度						
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、横浜市防災計画、旭区防災計画、旭区災害ボランティア連絡会補助金交付要綱						
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進						

事業目的・効果 (必要性)	<p>(1) 区民に対する「自助」「共助」の意識醸成と区内防災施設及び危険箇所の周知        ア 防災訓練の支援や研修会を通じて「自助」「共助」の意識の醸成を図ります。        イ 防災マップやハザードマップを活用し、区内防災施設及び危険箇所を周知します。</p> <p>(2) 地域防災拠点に配備されている資機材の保全及び活用        ア 既存の配備資機材の保全を図るとともに、故障機器等の修繕を継続的かつ効率的に実施します。        イ 配備資機材の取扱いについて、地域での訓練や研修を通じて理解を深めていきます。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災力の強化        新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な訓練が行えない中でも地域の防災力を低下させないため、「旭区ご近助マニュアル」を活用し、地域の自主防災組織が行う訓練の支援を消防署と連携して行うことで、自治会・町内会単位の防災力強化を図ります。</p> <p>(4) 福祉避難所開設・運営支援事業        発災時に自宅や地域防災拠点等での避難生活が困難な要援護者の避難場所の確保は本市としても課題になっており、旭区では区内66施設の福祉避難所を設置しております。発災時の速やかな福祉避難所開設と円滑な運営が行えるよう、連絡会の開催や訓練の実施を継続的に行っていく必要があります。また、対象ではない方の直接参集を防ぐためにも、地域住民への普及啓発を行う必要があります。</p>						
------------------	---	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>元禄型関東地震発生時の旭区内の最大震度【横浜市地震被害想定調査報告書（平成24年10月）】 震度6強</li> <li>元禄型関東地震発生時（18時想定）の旭区内の想定避難者数【横浜市地震被害想定調査報告書（平成24年10月）】 19,064人</li> <li>旭区内の土砂災害警戒区域（令和3年4月時点）【横浜市防災計画「資料編」】 114箇所</li> </ul>						
---------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
防災訓練、講習会回数(防災訓練事業)	単位	目標	56	56	56	93	93	93	93
	回	実績	47	32					
訓練回数(災害時医療事業)	単位	目標	7	7	7	7	7	7	7
	回	実績	7	7					
区内福祉避難所数	単位	目標	66	66	66	66	66	66	66
	施設	実績	66	66					

事業スケジュール	①防災訓練事業（通年）、②防災活動事業（通年）、③防災講演会（2月頃）、④災害ボランティア連絡会補助事業（通年）、⑤帷子川改修予定区間カメラ管理事業（通年） ⑥災害時医療事業 通信訓練（4、6、8、10、12、2月）、のぼり旗掲出訓練（10月）、区災害医療連絡会議（団体との調整により日程決定） ⑦福祉避難所開設・運営支援事業 福祉避難所連絡会（7月～9月、11月～2月）、開設運営訓練等（9月～10月）、コーディネーター派遣（通年）						
----------	---	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	防災訓練事業	1,347	380	967	資機材取扱講習会の本格実施による増
②	防災活動事業	8,448	8,323	125	研修会の開始等による増	
③	防災講演会	289	159	130	動画撮影編集委託等による増	
④	災害ボランティア連絡会補助事業	150	150	0		
⑤	帷子川改修予定区間カメラ管理事業	810	1,570	▲760	回線切替完了による減	
⑥	災害時医療事業	647	647	0		
⑦	福祉避難所開設・運営支援事業	491	140	351	コーディネーター派遣実施に伴う増	
	細事業合計	12,182	11,369	813		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務	係
	今市 明子	猪子 晋平	霜 和樹	



事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	地域安全安心普及推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,219	0	450	0		3,769
令和3年度	4,281	0	450	0		3,831
増△減	△ 62	0	0	0	0	△ 62

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	2,434	2,534	3,869	4,219	4,219	4,219
市債+一般財源	2,434	2,534	3,869	3,769	3,769	3,769
決算 事業費	2,402	2,417	3,478			
市債+一般財源	2,402	2,417	3,478			

事業概要	防犯・防災・交通安全を一体とし、安全・安心意識啓発の実施や自主防犯活動団体への支援を行い、安全で安心なまちづくりを推進します。また、子どもたちの安全確保のため犯罪を防止します。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	旭区まちぐるみ地域防犯推進事業助成金交付要綱、旭区子ども110番の家・車設置事業補助金交付要綱、旭区安全安心功労者区長表彰要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II目標に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							

事業目的・効果 (必要性)	<p>防犯・防災・交通安全を一体とし、安全・安心意識啓発事業の実施、自主防犯活動団体への支援を行い、「自らのまちは自ら守る」意識を高め、安全で安心なまちづくりを推進します。また、子どもたちの安全確保のため、区内各所に子ども110番の家・車を指定し、新小学1年生への防犯ブザー配布により、犯罪予防に活用します。</p> <p>区内の刑法犯認知総件数は減少傾向ですが、高齢者を狙った振り込め詐欺が依然として多くあります。市民意識調査においては、防犯対策に関する要望が多く、安全安心は住民の関心が高い分野です。</p> <p>地域で防犯・防災・交通安全に取り組んでくれた人材を表彰し意識を高めるとともに、自治会町内会が自主的に地域防犯活動費助成を通じて活発な自主防犯活動を強力に推進する必要があります。</p>							
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<p>【まちぐるみ地域防犯推進事業助成金(交付団体数、団体)】 30年度 60団体、元年度 59団体、2年度 43団体、3年度 60団体(見込)</p> <p>【子ども110番の家設置数(累計)】 30年度 1,571件、元年度 1,571件、2年度 1,506件、3年度 1,571件(見込)</p> <p>【子ども110番の家設置数(累計)】 30年度 1,265件、元年度 1,265件、2年度 1,267件、3年度 1,267件(見込)</p>							
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
まちぐるみ地域防犯推進事業助成金交付団体	単位 目標	50	50	50	50	50	50	50
	団体 実績	59	42					
こども110番の家登録数	単位 目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	件 実績	1,571	1,506					
	単位 目標							
	実績							

事業スケジュール	<p>【地域防犯推進事業】安全安心フェア開催(9/30) まちぐるみ地域防犯推進事業助成金(通年) 振り込め詐欺対策電話機補助金(通年)</p> <p>【こども安全安心事業】実行委員会5月、補助金申請及び交付決定(通年)、防犯ブザー配布(2~3月)</p>							
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域防犯推進事業	3,309	3,371	▲ 62	実績による消耗品費・印刷製本費の減
②	こども安全安心事業	910	910	0		
細事業合計		4,219	4,281	▲ 62		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	米山 水樹

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	交通安全対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,512	0	0	0		6,512
令和3年度	5,569	0	0	0		5,569
増△減	943	0	0	0	0	943

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	3,567	4,504	5,596
決算	3,567	4,504	5,596
事業費	3,858	4,820	4,990
市債+一般財源	3,858	4,820	4,990

令和5年度	令和6年度	令和7年度
6,512	6,512	6,512
6,512	6,512	6,512

事業概要	旭区内の交通安全意識のさらなる向上と交通事故防止を図るため、高齢者交通安全対策、スクールゾーン対策及び放置自転車・違法駐車追放対策を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	旭区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、旭区違法駐車追放等地区協議会活動補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果(必要性)	区内の交通事故発生件数のうち、子どもと高齢者が3割以上を占めています。そのため、交通事故の被害者となりやすい子どもと高齢者の交通安全に対する意識の向上及び事故防止を推進します。 また、放置自転車・バイクは街の美観を損ない、歩行者、障がい者の通行が阻害され、緊急車両の通行・活動を妨げる障害物となり得ることから、活動を通じて地域住民や警察等と協力して安全なまちづくりを目指します。							
根拠・データ等	【スクールゾーン区対応(令和2年度実績)】 要望対応箇所74件 (路面標示36、反射幕35、標識1、とびだしボーイ2) 【旭区内での交通事故件数】令和元年623件 令和2年556件(管内事故総数) 子ども・高齢者・自転車・二輪車関連では市内全区の中でも件数の多い状況にあります。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
シルバーリーダー講習会受講者数	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	人	実績	41	中止				
スクールゾーン対応件数	単位	目標	80	80	80	80	80	80
	件	実績	92	74				
旭区違法駐車追放等地区協議会活動補助金交付団体	単位	目標	9	8	8	8	8	8
	団体	実績	9	8				
事業スケジュール	①高齢者交通安全対策：交通安全キャンペーンの実施(年4回)、シルバーリーダー研修会の実施(区研修会:4月、市研修会10月)、交通安全教室の実施(中学生向け・高齢者向け各1回 9~12月) ②スクールゾーン対策：スクールゾーン対策協議会(6月)、助成金の交付(7~10月) 協議会の要望に基づく通学路の安全点検及び施工箇所完了検査(6月~3月) ③違法駐車追放等対策：助成金の交付(8~9月)							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域交通安全対策	771	471	300	中学生向け交通安全教室開催による増
	②	スクールゾーン対策	5,374	4,730	644	電柱巻き表示更新の単価上昇及び必要数増による増
	③	違法駐車追放等対策	367	368	▲1	実績による旅費の減
細事業合計		6,512	5,569	943		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	三浦 正	佐藤 和穂

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民スポーツ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,370	0	0	0		3,370
令和3年度	3,371	0	0	0		3,371
増△減	△1	0	0	0	0	△1

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,721	3,396	4,673	2,821	2,821	2,821
	市債+一般財源	2,721	3,396	4,673	2,821	2,821	2,821
決算	事業費	2,721	3,455	3,267			
	市債+一般財源	2,721	3,455	3,267			

事業概要	スポーツを通じて、区民の体力向上・健康維持、青少年の健全育成及び地域の連携を促すとともに、人や地域のつながりを密接にし、地域の活性化を図ります。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針針裁等	スポーツ基本法、横浜市スポーツ推進委員規則、旭区体育協会補助金交付要綱、旭区スポーツ推進委員連絡協議会に対する活動補助金交付要綱、旭区スポーツ推進委員連絡協議会会則、旭区民スポーツ祭補助金交付要綱、旭区大なわとび大会事業補助金交付要綱、旭区民スポーツ祭実施要項							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりの推進							
事業目的・効果(必要性)	旭区では高齢化率が高まっており、健康維持の面でもスポーツ活動の役割が期待されています。区民の体力向上や健康の維持を促進させ、身近な地域でスポーツ活動を行うことで、世代、性別、ハンディキャップを超えた交流により、地域のつながりを強めることが求められています。							
根拠・データ等	1 スポーツ協会事業 令和2年度の13競技部による大会の実施数：22回 ※一部の競技大会において、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 2 令和元年度旭区民スポーツ祭事業の参加者数：9,305人 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 3 令和元年度旭区大なわとび大会の参加者数：1,144人 ※令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
スポーツ協会大会開催数	単位	目標	31	53	53	53	53	53
	回	実績	31	22				
スポーツ祭参加者数	単位	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	人	実績	9,305	中止				
旭区大なわとび大会参加者数	単位	目標	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
	人	実績	1,144	中止				
事業スケジュール	・スポーツ祭 平成6年：事業開始 8月～11月にかけて10種目の地区大会が行われます。 ・旭区大なわとび大会 平成15年：事業開始 9月～12月にかけて地区予選会、1月～2月旭区大なわとび大会を実施							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	スポーツ協会事業	400	400	0	
	②	旭区民スポーツ祭事業	2,617	2,618	▲1	昨年度実績による消耗品費の減
	③	旭区大なわとび大会事業	353	353	0	
細事業合計			3,370	3,371	▲1	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	飯田 修平	五十嵐 賢

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	文化芸術による心の豊かさ推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,784	0	0	0		5,784
令和3年度	5,792	0	0	0		5,792
増△減	△8	0	0	0	0	△8

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	6,042	6,522	5,792
事業費	6,042	6,522	5,792
市債+一般財源	6,042	6,522	5,792
決算	5,598	6,155	2,356
事業費	5,598	6,155	2,356
市債+一般財源	5,598	6,155	2,356

令和5年度	令和6年度	令和7年度
5,784	5,784	5,784
5,784	5,784	5,784

事業概要	旭区民への身近な文化芸術環境の提供と心豊かな区民生活の実現を図るため、文化芸術活動支援事業、横浜旭ジャズまつり支援事業及び旭区文化振興会事業を展開します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	旭区文化事業補助金交付要綱、横浜市の文化芸術政策に関する中期的方針							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進							
事業目的・効果 (必要性)	区民が身近な所で文化芸術に触れる環境を提供するため、区民自らが行う文化芸術活動を支援し、地域のつながりや連帯感の醸成を図っていきます。また、区内の活力ある文化芸術団体の自立・発展及び新たな担い手の育成や団体のチャレンジを促し、文化芸術による潤いある心豊かな区民生活の実現を図ります。							
根拠・データ等	事業実施団体から提出される事業完了報告書(参加人数等)に基づく。 【文化関連事業来場者実績】 28年度：21,035人、29年度：21,849人、30年度：21,545人、元年度：20,109人、2年度：1,883人 ※文化芸術活動支援事業、旭ジャズまつり、旭区民文化祭の合計							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
文化芸術事業 参加者数	単位	目標	22,200	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	人	実績	20,109	1,883				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成6年度：事業開始 区内文化芸術活動団体が行う文化芸術活動に対し、補助金交付や広報協力等の支援を実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	文化芸術活動支援事業	2,014	2,022	▲8	実績による消耗品費の減
	②	横浜旭ジャズまつり支援事業	2,000	2,000	0	
	③	旭区文化振興会事業	1,770	1,770	0	
細事業合計			5,784	5,792	▲8	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援
	中村 一己	富岡 幸世	係 松本 浩輔

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	市民活動支援（みなくる）事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,363	0	0	0		1,363
令和3年度	1,363	0	0	0		1,363
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	573	573	990	1,363	1,363	1,363
	市債+一般財源	573	573	990	1,363	1,363	1,363
決算	事業費	564	569	971			
	市債+一般財源	564	569	971			

事業概要	<p>区民の自主的な市民活動・生涯学習を支援するため、旭区市民活動支援センター「みなくる」は、地域に根ざした運営を目指し、区民の様々な要望に応えながら、活動拠点としての役割を果たしてまいります。</p> <p>また、活動団体支援のほか、新たな地域の担い手発掘を目指した講座・イベントの展開やセンター機能の強化を図ります。</p>
------	--

事業開始年度	平成18年度
--------	--------

根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育法 ・生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律 ・横浜市市民協働条例</li> <li>・第3次横浜市生涯学習基本構想 ・横浜市生涯学習推進指針 ・横浜市男女共同参画推進条例</li> <li>・旭区市民活動支援センター運営要綱 ・旭区生涯学習支援バンク実施要項 ・旭区市民活動支援センター事務取扱要領</li> <li>・旭区一時託児推進事業実施要領 ・市民活動支援センター事業展開ガイドライン</li> </ul>
------------	---

運営方針等との関連	<p>令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策</p> <p>魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進</p>
-----------	---

事業目的・効果(必要性)	<p>生涯学習やサークルを始めとした各種市民活動が盛んな地域特性やニーズに応え、地域に密着した活動支援拠点としての機能が求められています。新型コロナウイルス感染症の影響下における生活環境の変化、高齢化など社会課題を掴み、適時的確な支援の提供、新たな担い手の育成などにも取り組んでいきます。</p> <p>旭区において多くの地域活動が展開され、地域課題の解決につながります。</p>
--------------	--

根拠・データ等	<p>市民活動支援センターは各区に1館設置</p> <p>その運営は、直営と民間委託があり、旭区市民活動支援センターは旭区の直営施設です。</p>
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
来館者数	単位	目標	18,000	18,000	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000
	人	実績	17,428	5,968					
登録団体数	単位	目標	146	127	117	130	130	140	140
	団体	実績	116	106					
自主企画事業参加者満足度	単位	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	91.0	92.0					

事業スケジュール	<p>令和元年度：＜講座＞「TVニュースができるまで」「ふれあい区民まつり（PR展示）」「区民利用施設職員研修会」「定年後のいきいき未来講座」「女性のための生涯学習講座」</p> <p>令和2年度：＜講座＞「初めてのSNS講座」「おうち時間リフレッシュ講座（3講座）」</p> <p>＜その他＞団体貸出用ロッカーの増設及び施設内掲示物の刷新、アドバイザー名簿の作成及び区民利用施設に配布</p> <p>令和3年度：＜講座＞「インターネット活用講座」「区民利用施設職員研修会」「登録団体・アドバイザー研修会」「女性のための生涯講座」「いきいき未来講座」</p> <p>＜その他＞ホームページコンテンツの改善、施設案内サイン設置</p> <p>令和4年度：＜講座＞「みなくるミニ講座」「ミドル向け講座」「インターネット講座」「区民利用施設職員研修会」「アドバイザー研修会」</p>
----------	--

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	市民活動支援センター事業	631	561	70	研修内容等の変更による増
	②	人材発掘・育成・支援に関する事業	732	802	▲70	実績による消耗品費等の減
細事業合計		1,363	1,363	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	富岡 幸世	中村 祐太

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	読書活動推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	329	0	0	0		329
令和3年度	300	0	0	0		300
増△減	29	0	0	0	0	29

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算			
事業費	0	300	300
市債+一般財源	0	300	300
決算			
事業費	0	300	300
市債+一般財源	0	300	300

令和5年度	令和6年度	令和7年度
329	329	329
329	329	329

事業概要	令和元年に改定した「旭区読書活動推進目標」に基づき、区役所、図書館、学校や活動団体などと連携し、地域社会で活発な読書活動を推進するための事業を行います。							
事業開始年度	令和元年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりの推進							
事業目的・効果 (必要性)	平成26年に制定された「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づき「旭区読書活動推進目標」を策定しました。令和元年に目標を改定したことに伴い、目標に沿った本事業を進めることで区役所、図書館、学校や活動団体などと連携し、地域社会で活発な読書活動を推進します。							
根拠・データ等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例 旭区読書活動推進目標 ・ビブリオバトル 令和元年度参加数 29人 ・読書講演会 令和元年度参加者数 72人 ※令和2年度のビブリオバトル及び講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ビブリオバトル参加人数	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	人	実績	29	中止				
講演会参加人数	単位	目標	80	80	80	80	80	80
	人	実績	72	中止				
おはなし会実施回数	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	回	実績	98	43				
事業スケジュール	ビブリオバトル 11月 読書講演会 9月、2月 絵本配本 11月～2月							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ビブリオバトル事業	104	105	▲1	消耗品費見直しによる減
②	読書講演会事業	55	55	0		
③	読書活動推進事業	170	140	30	絵本単価見直しによる増	
細事業合計		329	300	29		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	石原 孝	飯田 修平	高橋節也

# 令和 4 年度 事業計画書

事業区課	旭区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	青少年健全育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	551	0	0	0		551
令和3年度	564	0	0	0		564
増△減	△ 13	0	0	0	0	△ 13

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	593	593	593	551	551	551
	市債+一般財源	593	593	593	551	551	551
決算	事業費	593	554	25			
	市債+一般財源	593	554	25			

事業概要	青少年団体が行う青少年健全育成を目的とした事業を支援します。また、自然科学への関心を高めるため、小学生向けに科学体験イベントを実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	神奈川県青少年保護育成条例、旭区青少年団体等活動事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	青少年団体の活動を支援することにより、未来を担う子どもたちの健全な育成を図ることを目的としています。また、青少年の「理科離れ」が指摘されている中、科学の楽しさを知ってもらうため、「サイエンス教室」、「実験教室」、「プログラミング教室」を実施することにより、自然や科学への興味・関心を深めることを目的としています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度旭区子ども会育成連絡協議会加入地区数：連合19地区中8地区</li> <li>令和元年度子ども未来発見事業アンケート結果、報告書 (令和2年度は新型コロナの影響により開催中止)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
青少年団体補助対象事業参加者数	単位	目標	700	700	700	700	700	700
	人	実績	739	62				
こども未来発見事業参加者満足度	単位	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	100.0	中止				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成6年：事業開始 以降、旭区子ども会育成連絡協議会及び旭区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡会の事業に毎年度補助金を交付 平成23年：天文教室（後にサイエンス教室に名称変更）開始 令和3年：実験教室、プログラミング教室 開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	青少年団体活動補助事業	243	243	0	
	②	こども未来発見事業	308	321	▲ 13	実績による消耗品費の減
	細事業合計		551	564	▲ 13	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	中村 一己	富岡 幸世	松本 浩輔



事業区課	旭区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	一時託児サービス事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	963	0	0	0		963
令和3年度	974	0	0	0		974
増△減	△ 11	0	0	0	0	△ 11

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	917	917	917
決算	914	817	103
市債+一般財源	917	917	917
市債+一般財源	914	817	103

令和5年度	令和6年度	令和7年度
963	963	963
963	963	963

事業概要	市民サービス向上のために、旭区役所庁舎内の託児室において、一時託児サービスを実施します。							
事業開始年度	平成9年度							
根拠法令・方針決裁等	旭区一時託児サービス事業実施要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼							
事業目的・効果(必要性)	<p>乳幼児を連れて来庁する区民が諸手続きをスムーズに行い、落ち着いて相談できるよう、一時託児サービスを実施することで、市民サービスの向上につなげます。</p> <p>特に乳幼児健診には、きょうだい児を連れて来庁する機会が多いことから、乳幼児健診の実施日に合わせた開室日としています。その他、窓口繁忙月(転出入(4月)、児童扶養手当受付(8月)等)には毎日開室としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少したため、令和2年度以降は乳幼児健診実施日のみの開室としており、保育協力者の配置人数も縮小して運営しています(令和3年8月現在)。今後の開室日程・保育協力者の配置人数については、新型コロナウイルス感染症の状況と利用者数の推移をうかがいながら、臨機応変に対応していきます。</p>							
根拠・データ等	<p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日開室月(令和元年度まで) ※令和2年度以降は乳幼児健診実施日のみ開室 4月(転出入)、8月(児童扶養手当受付)、11月(保育所入所受付)、1月(年始繁忙期)、3月(確定申告)</li> <li>保育協力者配置人数(令和元年度まで→令和3年8月現在) 乳幼児健診の日 4か月児健診:4名→2名 1歳半健診:3名→2名 3歳児健診:5名→3名 その他の日 2名→なし</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者数	単位	目標	800	200	200	300	300	300
	人	実績	640	139				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	通年で実施							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	一時託児サービス事業	963	974	▲ 11	実績に基づく消耗品費の減
	細事業合計		963	974	▲ 11	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	今市 明子	黒田 智子	田澤 麻由子



事業区課	旭区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	子育て支援情報提供事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,044	0	0	0		4,044
令和3年度	4,309	0	0	0		4,309
増△減	△ 265	0	0	0	0	△ 265

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,878	3,926	4,210
市債+一般財源	2,878	3,926	4,210
決算 事業費	2,767	3,856	4,345
市債+一般財源	2,767	3,856	4,345

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,044	4,044	4,044
4,044	4,044	4,044

事業概要	妊娠期からの「親育ち」や他者とのつながりの中で安心して子育てができるよう、気軽に子育ての相談ができる窓口や地域における子育て資源の情報を様々な方法により提供します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果(必要性)	都市化や核家族化が進む中で、地域の中で孤立しがちな養育者や育児に不安を抱えている養育者が増加しているため、行政や地域による育児支援が不可欠になっています。特に旭区は、ひとり親家庭や養育者の精神疾患、子どもの障害などが多い状況です。子育ての相談ができる窓口や地域における子育て資源の情報を様々な方法で提供することにより、子育てをする上で様々な困難を抱えている家庭を支援することを目的としています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭区出生数【横浜市統計書】</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度1,511人、2年度1,512人、3年度1,500人(見込)、4年度1,500人(見込)</li> <li>こども家庭支援課窓口相談件数</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度26,807人、2年度21,429人、3年度20,000人(見込)、4年度20,000人(見込)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
乳幼児健診受診者数	単位	目標	4,920	5,202	4,600	4,600	4,600	4,600
	人	実績	4,535	3,465 (区福C受診)				
こんにちは赤ちゃん訪問数	単位	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	件	実績	1,182	1,214				
子育てガイドブック「とことこ」作成数	単位	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	部	実績	5,000	5,000				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度：育児講座事業開始</li> <li>平成18年度：子育て支援情報PR事業開始</li> <li>平成20年度：こんにちは赤ちゃん訪問記念品事業開始</li> <li>令和元年度：タブレット利用情報提供事業開始</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	子育て支援情報PR事業	1,053	1,200	▲ 147
②	乳幼児健診における育児講座	2,123	2,159	▲ 36	実績による消耗品費の減
③	タブレット利用情報提供	348	432	▲ 84	利用料実績に基づく減
④	こんにちは赤ちゃん訪問記念品事業	520	518	2	契約実績に基づく増
細事業合計		4,044	4,309	▲ 265	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松田 悟	名倉 孝典	川瀬 由加里

事業区課	旭区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	子育て・若者支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,686	0	0	0		3,686
令和3年度	3,520	0	0	0		3,520
増△減	166	0	0	0	0	166

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	2,737	3,106	3,487	3,686	3,686	3,686
算 市債+一般財源	2,737	3,106	3,487	3,686	3,686	3,686
決 事業費	2,573	2,947	2,719			
算 市債+一般財源	2,573	2,947	2,719			

事業概要	養育者を対象に、育児に関する様々な教室等を開催し、子育て世代の支援を実施します。また、ひきこもり等の困難を抱える若者の社会参加への支援を実施します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	都市化や核家族化が進む中で、地域の中で孤立しがちな養育者や育児に不安を抱えている養育者が増加しているため、行政や地域による育児支援が不可欠になっています。育児不安を抱える養育者を適切に把握し、必要な支援につなげられるよう、支援者の知識・技能の向上と見守りのネットワークの強化を進めます。さらに、発達障害等に関する養育者や地域の支援者などの理解促進を図り、健やかな子どもの発達を支援することを目的としています。また、ひきこもり等の困難を抱える若者が社会参加しやすい環境づくりを支援することを目的としています。							
根拠・データ等	・旭区出生数【横浜市統計書】 <実績推移>元年度1,511人、2年度1,512人、3年度1,500人(見込)、4年度1,500人(見込)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
両親教室、プレママ・パパ教室参加者数	単位	目標	100	100	60	120	120	120
	組	実績	94	56				
地域育児教室参加者数	単位	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	人	実績	2,357	1,015				
若者の社会体験参加者数(延べ人数)	単位	目標	3	16	68	80	80	80
	人	実績	2	16				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成3年度：地域育児(赤ちゃん教室)事業開始</li> <li>・平成14年度：妊娠期支援事業開始</li> <li>・平成18年度：子育て支援連絡会事業開始</li> <li>・平成25年度：発達障害児等支援事業開始</li> <li>・平成26年度：ひとり親家庭相談支援事業開始</li> <li>・平成28年度：困難を抱える若者支援事業開始</li> <li>・平成30年度：児童虐待予防事業開始</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	妊娠期支援事業	294	352	▲ 58	契約実績による減
	②	地域育児(赤ちゃん)教室	1,098	1,066	32	歯科衛生士報償費新設による増
	③	発達障害児等支援事業	743	746	▲ 3	実績による消耗品費の減
	④	児童虐待予防事業	726	487	239	心理士講師報償費新設による増
	⑤	子育て支援連絡会	233	249	▲ 16	実績による消耗品費の減
	⑥	ひとり親家庭相談支援事業	496	500	▲ 4	実績による消耗品費の減
	⑦	困難を抱える若者支援事業	96	120	▲ 24	実績による消耗品費の減
	細事業合計		3,686	3,520	166	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	松田 悟	横田 慈	川瀬 由加里

事業区課	旭区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	保育所地域子育て支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,806	0	0	28		5,778
令和3年度	5,839	0	0	37		5,802
増△減	△33	0	0	△9	0	△24

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	7,916	6,664	6,126
市債+一般財源	7,874	6,621	6,089
決算	7,839	5,238	3,564
市債+一般財源	7,817	5,217	3,564

令和5年度	令和6年度	令和7年度
5,806	5,806	5,806
5,778	5,778	5,778

事業概要	養育支援の強化を目的として、臨床心理士による民間保育所等での相談支援や保育施設等を対象とする研修を実施し、また、子育て応援イベントや保育所における施設開放、絵本の貸出、育児相談等の地域子育て支援事業を行います。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市認定こども園及び保育所地域子育て支援事業実施要綱、旭区市立保育所ランチ交流事業実施要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果(必要性)	養育力低下に伴う家族支援の必要性が高まり、発達障害等で保護者や子どもへの対応が困難な事例が増加しているため、保育所においても臨床心理士等の専門家と協働して対応することが求められています。また、核家族化が進み、地域とのつながりが希薄になる中で、家庭で子育てをしている養育者の中には、身近に相談できる人がいないため地域で孤立したり、育児不安を抱えている方も多く、地域の保育資源である保育所を有効活用した子育て支援を進めることが必要です。臨床心理士による相談支援や研修を通じ、養育支援の強化を目的として、子どもへの理解、支援力の向上を目的としています。また、子育て応援イベントや保育所における地域子育て支援を行うことで、地域の育児力の向上、養育者の地域での孤立防止につなげることを目的としています。							
根拠・データ等	・旭区出生数【横浜市統計書】 <実績推移>元年度1,511人、2年度1,512人、3年度1,500人(見込)、4年度1,500人(見込)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区内保育所等数/心理士派遣先数	単位	目標	63	61	64	64	64	64
	施設	実績	30	22				
保育のひろば参加者	単位	目標	900	900	900	900	900	900
	人	実績	814	1,729 <small>7ヶ月 WEB開催</small>				
公立保育所施設開放利用者	単位	目標	1,100	1,100	500	900	900	900
	人	実績	1,078	684				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度：地域交流事業開始</li> <li>平成23年度：保育のひろば事業開始</li> <li>平成24年度：保育所を活用した養育支援強化事業開始</li> <li>令和3年度：保育園ネットワーク環境整備事業開始</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 保育所を活用した養育支援強化事業	3,091	2,152	939	臨床心理士謝金の増
	② 保育のひろば事業	784	840	▲56	実績による消耗品費の減
	③ 地域交流事業	1,387	1,590	▲203	実績による消耗品費の減
	④ 保育園ネットワーク環境整備事業	544	1,257	▲713	備品費、回線使用料契約実績の減
細事業合計		5,806	5,839	▲33	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	菅井 亜紀子	真栄田 久恵	川瀬 由加里

事業区課	旭区	福祉保健課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	地域福祉保健計画事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,688	0	0	0		1,688
令和3年度	3,216	0	0	0		3,216
増△減	△ 1,528	0	0	0	0	△ 1,528

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	1,139	5,039	4,137
決算	1,008	4,196	3,011
市債+一般財源	1,139	5,039	4,137
市債+一般財源	1,008	4,196	3,011

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,688	4,000	4,000
1,688	4,000	4,000

事業概要	「地域で支え合い安心して自分らしく暮らせるまち旭区」を目指し、区民・事業者・行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等が協働し、第4期旭区地域福祉保健計画の推進に一体となって取り組みます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法、第4期横浜市地域福祉保健計画、第4期旭区地域福祉保健計画、旭区地域福祉保健推進会議運営要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果(必要性)	令和3年度から7年度を計画期間とする第4期きらっとあさひプラン（第4期旭区地域福祉保健計画）を推進しています。区全域計画、地区別計画ともに計画を着実に推進するため、関係団体への意見聴取の機会の確保し、地区推進組織や推進チーム、庁内向けの研修を実施します。 また、第3期推進時より、きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画）の区民への認知度が低いことが課題となっていることから、より多くの区民計画を知ってもらい、身近な計画であることを理解してもらう必要があります。							
根拠・データ等	平成30年度旭区区民意識調査結果（計画の認知度） 地区ごとの計画も含めて知っている 1.1% 概要は知っている 3.7% 名前は聞いたことがある 10.2%							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
きらっと福祉大会参加者数	単位	目標	350	350	350	350	350	350
	人	実績	387	中止				
地区推進会議・チーム会議開催数	単位	目標	-	-	130 (推進)	130 (推進)	130 (推進)	180 (策定・推進)
	回	実績	179 (策定・推進)	189 (策定・推進)				180 (策定・推進)
きらっとあさひプラン認知度	単位	目標	-	-	16.0	16.5	17.0	17.5
	%	実績	H30年度：15.0	-				18.0
事業スケジュール	令和元年度：第3期旭区地域福祉保健計画推進、第4期旭区地域福祉保健計画策定 令和2年度：第3期旭区地域福祉保健計画推進、第4期旭区地域福祉保健計画策定 令和3年度：第4期地域福祉保健計画策定・推進 令和4年度：第4期旭区地域福祉保健計画推進							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域福祉保健計画推進・普及啓発事業	1,033	2,541	▲ 1,508	第4期地福計画公表年度終了による減
	②	地域福祉保健推進会議	278	298	▲ 20	ペーパーレス推進による減
	③	きらっとあさひ福祉大会	377	377	0	
細事業合計			1,688	3,216	▲ 1,528	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	石津 雄一郎	武島 かおり	係 緒方 信也

事業区課	旭区	福祉保健課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,682	0	0	0		3,682
令和3年度	3,203	0	0	0		3,203
増△減	479	0	0	0	0	479

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,371	2,909	2,780
市債+一般財源	2,371	2,909	2,780
決算 事業費	2,312	2,886	1,737
市債+一般財源	2,312	2,886	1,737

令和5年度	令和6年度	令和7年度
3,682	3,682	3,682
3,682	3,682	3,682

事業概要	民生委員・児童委員や主任児童委員の活動を支援することにより、地域のつながりづくりを推進します。また、活動内容や制度が地域住民に広く理解されるよう普及啓発を行います。							
事業開始年度	平成12年度							
根拠法令・方針決裁等	ジュニアボランティア体験事業補助金交付要綱、ゆかいなコンサート支援事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果(必要性)	<p>民生委員・児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、地域住民の福祉や生活支援活動を進めています。それぞれ担当する区域内で、高齢者、児童、母子、障害者・児等の福祉や、経済的に困っている人の支援など、地域での福祉活動を推進しています。そのほか、ボランティア活動や協同募金運動への協力・支援、生活福祉資金の貸付けの相談等にも活躍しています。</p> <p>地域住民と福祉保健センター等関係行政機関との連絡・協力など、同じ地域に共に生活する市民の立場から、地域と行政とのつなぎ役として、民生委員・児童委員は福祉増進のための幅広い活動を行なっています。さらに、児童福祉法により児童委員を兼ねており、将来の社会を担う児童を、心身ともに健全で、思いやりのある青少年に育成するため、積極的な活動を推進しています。また、児童福祉を専門的に扱う主任児童委員が配置され、児童虐待等の問題の解決に積極的に関わっています。</p> <p>地域の高齢化率の上昇、ひとり暮らし高齢者数や児童虐待件数の増加に伴い、民生委員・児童委員の見守りや相談支援が必要な世帯も増加し、加えて、社会状況の変化により相談内容は複雑化・多様化しています。その状況に対し、年齢要件によるベテラン民生委員・児童委員の退任や、年齢要件を満たしていたとしても、就労・育児・家事・介護等との両立による民生委員業務への負担感増加から、民生委員・児童委員の「なり手不足」が深刻化しています。</p> <p>民生委員・児童委員が活動しやすい環境を整備し、適切にサポートを行なうとともに、活動内容の周知・啓発を広く実施することで、新たな「なり手」を確保していきます。</p>							
根拠・データ等	<p>民生委員・児童委員数および主任児童委員数(旭区)</p> <p>平成28年度 民生委員・児童委員→265名(定数292)、主任児童委員→39名(定数40)、合計304名(定数332)</p> <p>平成29年度 民生委員・児童委員→270名(定数292)、主任児童委員→39名(定数40)、合計309名(定数332)</p> <p>平成30年度 民生委員・児童委員→273名(定数293)、主任児童委員→38名(定数40)、合計311名(定数333)</p> <p>令和元年度 民生委員・児童委員→257名(定数293)、主任児童委員→35名(定数40)、合計292名(定数333)</p> <p>令和2年度 民生委員・児童委員→267名(定数293)、主任児童委員→36名(定数40)、合計303名(定数333)</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ジュニアボランティア参加者数	単位	目標	330	300	300	300	300	300
	人	実績	279	中止				
ゆかいなコンサート参加者数	単位	目標	450	450	235	450	450	450
	人	実績	450	中止				
経験者交流会(各地区)	単位	目標	1	1	1	1	1	1
	回	実績	1	中止				
事業スケジュール	<p>平成28年度 民生委員・児童委員、主任児童委員 一斉改選</p> <p>令和元年度 民生委員・児童委員、主任児童委員 一斉改選</p> <p>令和4年度 民生委員・児童委員、主任児童委員 一斉改選</p> <p>令和7年度 民生委員・児童委員、主任児童委員 一斉改選</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ジュニアボランティア体験事業～民生委員とともに～	2,227	2,244	▲17
②	民生委員活動支援事業	1,455	959	496	一斉改選に伴う活動支援による増
	細事業合計	3,682	3,203	479	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	福祉保健係
	石津 雄一郎	江原 春彦	村嶋 典子

事業区課	旭区	福祉保健課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	健康生活支援事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	2,668	0	0	0			2,668
令和3年度	2,783	0	0	0			2,783
増△減	△ 115	0	0	0	0	0	△ 115

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	2,661	2,962	3,707	2,668	2,668	2,668
市債+一般財源	2,661	2,962	3,707	2,668	2,668	2,668
決算						
事業費	2,822	2,842	1,893			
市債+一般財源	2,822	2,842	1,893			

事業概要	健康寿命延伸を目標に運動・栄養・歯科・禁煙推進など生活習慣病の予防を区民に働きかけます。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	健康増進法、食育基本法、母子保健法、第2期健康横浜21、女性の健康習慣実施要綱（厚生労働省）							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に第2期健康横浜21が策定され、単に寿命を延ばすというだけでなく、健康寿命を延伸させることが求められ、生活習慣病予防、運動習慣推進、口腔ケア、禁煙支援・受動喫煙防止、食育推進等の活動に取り組む必要があります。また、次世代の健康にも影響を及ぼすと考えられる働き・子育て世代を中心に積極的に健康づくりに推進していく必要があります。</li> <li>平成30年度からスタートした「よこはま健康アクションStage 2」に基づき、働き・子育て世代からの健康づくりや、地域活動を通じた健康づくり、受動喫煙防止の取り組みなど10の取り組みの推進を強化する必要があります。</li> </ul>							
根拠・データ等	平成28年度「市民意識調査」では、意識して運動をしていない人が市内第17位であり、また、主観的健康観が第17位と他区に比較すると、健康についての数値が低い項目があります。同様に平成30年度旭区市民意識調査でも、40代以下はウォーキングをする習慣や、運動する習慣が50代以降の年代と比較すると低い値となっています。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ウォーキング等による運動啓発	単位	目標	6	6	2	2	2	2
	回	実績	6	中止				
保健活動推進委員と連携した禁煙啓発	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	2	1				
口腔衛生の啓発(親子・歯周病)	単位	目標	280	160	280	280	280	280
	組・人	実績	280	160				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度：事業開始</li> <li>令和3年度：各種事業実施</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ウォーキング推進事業	106	461	▲ 355	実施回数の見直しによる減
	②	健康づくり環境整備	146	195	▲ 49	広報物印刷終了による減
	③	働き・子育て世代の健康応援事業	1,178	812	366	3年度実績に基づく増
	④	親子歯みがき教室	634	651	▲ 17	実績による消耗品費の減
	⑤	歯周病予防教室	149	155	▲ 6	実績による消耗品費の減
	⑥	禁煙推進・受動喫煙防止啓発推進事業	182	228	▲ 46	実績による消耗品費の減
	⑦	おにぎりあさひくんの人形劇、食育啓発事業	273	281	▲ 8	実績による消耗品費の減
	細事業合計		2,668	2,783	▲ 115	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	石津 雄一郎	斉藤 尚子	川口 日向枝



事業区課	旭区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	認知症をみんなでささえるまちづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,365	0	0	0		1,365
令和3年度	1,308	0	0	0		1,308
増△減	57	0	0	0	0	57

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	733	937	1,197
市債+一般財源	733	937	1,197
決算	630	891	1,131
市債+一般財源	630	891	1,131

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,310	1,310	1,310
1,310	1,310	1,310

事業概要	地域の様々な活動を促進し、地域や関係機関の支えあいにより、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めます。	
事業開始年度	平成16年度	
根拠法令・方針決裁等	精神保健福祉法、横浜市福祉保健センター精神保健福祉業務実施要綱	
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進	

事業目的・効果 (必要性)	旭区は高齢者数72,369人(市内1位)、高齢化率29.5%(市内3位)、認知症者は概算で7,502人(要介護認定者の54.2%)となっています。今後高齢者数はますます増加し、2025年(令和7年)には約2,600人と推計されており、高齢化率の増加に合わせて認知症患者数と介護する家族数の増加が見込まれます。家族や本人が安心して地域で生活できるよう、区民が認知症という病気を正しく理解し、対応方法を学ぶことで、認知症の人や介護者みんなで支えるまちづくりを推進します。	
------------------	---	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭区65歳以上の高齢者数 &lt;実績推移&gt;元年度72,186人(29.2%)、2年度72,369人(29.5%)、3年度73,694(30.7%) (推計)、4年度73,728(31%) (推計)</li> <li>旭区認知症高齢者(要介護認定認定者のうち認知症自立度Ⅱa以上) &lt;実績推移&gt;元年度 7,658人 2年度 7,502人 3年度 7,600人(見込) 4年度 7,700人(見込)</li> <li>認知症高齢者SOS登録者数 &lt;実績推移&gt;元年度 220人、2年度 225人、3年度 230人(見込)、4年度 240人(見込)</li> </ul>	
---------	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
認知症サポーター養成数	単位	目標	19,800	20,000	20,500	21,000	22,000	23,000	24,000
	人	実績	19,774	20,240					
認知症高齢者SOS登録者数	単位	目標	220	250	300	350	400	450	500
	人	実績	220	225					
認知症カフェ	単位	目標	8	8	8	10	10	10	13
	箇所	実績	8	8					

事業スケジュール	平成16年度 事業開始 認知症シンポジウム実施 平成17年度 旭区の認知症を考える会(SOSネットワークシステム連絡会) 平成18年度 脳いきいきフォーラム実施、もの忘れ相談開始、旭区と医師会が考えた勉強会 平成19年度 あさがお協力隊(ボランティアグループ)結成、認知症フォーラム開催 平成20年度～22年度 講演会実施(年1回) 平成23年度 まちづくり検討会(認知症を考える会から変更) 平成25年度 ボランティア向け研修実施 平成26年度 地域支援連絡会(初回)開催 平成27年度～令和3年度 講演会(年1回)実施、地域支援連絡会(年1回)実施 平成29年度～令和3年度 旭オレンジウィーク(普及啓発)	
----------	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域活動の推進	260	308	▲48	紙資料削減による減
	②	啓発活動の展開	1,105	1,000	105	講演会開催による増
細事業合計			1,365	1,308	57	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	杉本 光明	太田 みどり	佐藤 利栄

# 令和 4 年度 事業計画書

事業区課	旭区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	高齢者生きがいがづくり支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	856	0	0	0		856
令和3年度	865	0	0	0		865
増△減	△9	0	0	0	0	△9

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	245	487	245	856	856	856
	市債+一般財源	245	487	245	856	856	856
決算	事業費	237	481	207			
	市債+一般財源	237	481	207			

事業概要	高齢者が住み慣れた地域で、健康で生きがいを見出した活動ができるよう、老人クラブ・友愛活動への支援等を行うことにより、地域高齢者福祉の推進を図ります。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	老人福祉法							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	旭区は高齢者が72,369人と市内で最も多く、急速に進行する高齢社会において、高齢者が健康で生きがいを見出した活動を地域の中で実施できるよう支援する必要があります。 旭区老人クラブ連合会は、市内で最大の9,000人を超える会員を擁しており、老人クラブの活動が地域高齢者福祉活動の推進に大きく寄与しています。一方で、新規会員の確保が旭区老人クラブ連合会の喫緊の課題となっており、クラブ活動のPRなど、会員の加入促進に向けた取組が必要です。							
根拠・データ等	旭区老人クラブ ・クラブ数 令和3年4月1日時点 139クラブ、令和2年4月1日時点 141クラブ、平成31年4月1日時点 147クラブ ・会員数 令和3年4月1日時点 9,354人、令和2年4月1日時点 9,786人、平成31年4月1日時点 10,455人							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
共催事業開催数	単位	目標	9	9	9	9	9	9
	回	実績	9	中止				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	区老人クラブとの共催事業 ・健康を進める運動講演会（6月） ・輪投げ大会（6月） ・友愛活動員研修会（7月） ・囲碁・将棋大会（10月） ・単位クラブ役員研修会（12月） ・会長研修会（1月） ・ことぶき大学（2月） ・趣味の作品展（2月） ・いきいき活動慰安大会（3月）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	老人クラブ支援事業	808	813	▲5	経費見直しによる減
②	友愛活動員支援事業	48	52	▲4	経費見直しによる減	
	細事業合計	856	865	▲9		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 杉本 光明	係長 吉田 健太郎	高齢・障害サービス 係 吉田 健太郎
--------------------	-------------	--------------	-----------------------



事業区課	旭区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	障害者ネットワーク推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,764	0	0	0		1,764
令和3年度	2,326	0	0	0		2,326
増△減	△ 562	0	0	0	0	△ 562

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	948	1,026	2,026
市債+一般財源	948	1,026	2,026
決算 事業費	810	809	1,643
市債+一般財源	810	809	1,643

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,764	1,764	1,764
1,764	1,764	1,764

事業概要	関係機関との連携強化、当事者の社会参加支援及び地域に対する精神障害についての普及啓発を行うことで、精神障害のある方が地域で安心して暮らせるような地域づくりを推進します。							
事業開始年度	平成11年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者総合支援法、精神保健福祉法、旭区ふれあいスポーツ事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	旭区は、精神障害者の数が6,609人(市内5位)、精神科病院の病床数1,430床(市内1位、市の約28%が集中)となっており、精神障害者は今後さらに増加が見込まれます。そのため、精神障害者が病院や施設等から地域移行することを推進し、その後も安心して地域で暮らし続けていける地域づくりが必要です。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神障害者把握数 : 旭区 令和3年3月31日時点 6,609人、令和2年3月31日時点 6,405人、平成31年3月31日時点 6,293人</li> <li>○精神保健福祉手帳交付数: 旭区 令和3年3月31日時点 2,864人、令和2年3月31日時点 2,776人、平成31年3月31日時点 2,621人</li> <li>○自立支援医療受給者数 : 旭区 令和3年3月31日時点 5,155人、令和2年3月31日時点 4,502人、平成31年3月31日時点 4,415人</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
精神保健福祉 セミナー参加 者数	単位	目標	300	200	200	200	200	200
	人	実績	中止	222				
精神科嘱託医 派遣	単位	目標	5	6	6	6	6	6
	回	実績	5	5				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和4年度予定 ふれあいスポーツ大会(6月、10月) 精神科嘱託医派遣(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 精神保健福祉セミナー(2月) 精神保健福祉講座(年2回) 健康増進出前講座(年5回)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	関係機関連携強化・社会参加支援事業	276	815	▲ 539	旭区障がいサポートガイド改訂済による減
	②	普及啓発事業	1,488	1,511	▲ 23	事務用品節約による減
細事業合計			1,764	2,326	▲ 562	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	杉本 光明	篠崎 晋也	篠崎 晋也

事業区課	旭区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	DV対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	914	0	0	0		914
令和3年度	927	0	0	0		927
増△減	△13	0	0	0	0	△13

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	916	892	852	914	914	914
	市債+一般財源	916	892	852	914	914	914
決算	事業費	872	891	886			
	市債+一般財源	872	891	886			

事業概要	DV被害女性の心理的ケアや自立支援を目指し、女性弁護士によるDV法律相談及び臨床心理士による個別カウンセリングを実施します。							
事業開始年度	平成14年度							
根拠法令・方針決裁等	DV防止法、児童虐待の防止等に関する法律、旭区児童虐待・DV防止連絡会設置要綱							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	女性福祉相談で対応する相談は、パートナーからの身体・精神的な暴力に関する内容だけではなく、経済的不安や子どもへの影響など内容は複雑多岐に渡っています。被害女性は、心的外傷後ストレス障害を抱えていたり、離婚や親権などの法的な問題を抱えていたりすることが多く、心理的ケアや法的知識など専門的知見からの支援を必要とします。また、児童虐待の問題を併せ持つことが多いため、関係機関と連携し、的確に支援する必要があります。DV被害女性の心理的ケアや自立支援を行うとともに、離婚や親権の問題など、法的問題の解決につなげることを目的としています。							
根拠・データ等	・DV相談数の推移（法律相談、個別カウンセリング） <実績推移>元年度431人、2年度561人、3年度400人（見込）、4年度400人（見込）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
法律相談・個別カウンセリング	単位	目標	24	24	24	24	24	24
	回	実績	24	24				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・平成14年度：DV相談事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	DV相談事業	914	927	▲13	実績による消耗品費の減
	細事業合計		914	927	▲13	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松田 悟	横田 慈	川瀬 由加里

事業区課	旭区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	安全で安心な食と生活環境支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,190	0	0	0		1,190
令和3年度	1,371	0	0	0		1,371
増△減	△ 181	0	0	0	0	△ 181

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	615	615	655
市債+一般財源	615	615	655
決算 事業費	601	615	844
市債+一般財源	601	615	844

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,190	1,190	1,190
1,190	1,190	1,190

事業概要	平時及び災害時の区民の安全で安心な食と生活環境づくりを支援します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	食品衛生法、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律							
運営方針等との関連	令和3年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進							
事業目的・効果 (必要性)	①高齢者世帯等では、アンナガバチの巣の自主駆除が困難であるケースが多く刺傷事故につながる可能性があります。ボランティアによる駆除支援を今後も続ける必要があります。 ②新型コロナウイルスに対応する飲食店に対して、衛生管理状況等の監視支援を強化します。また、地域行事やボランティア給食等福祉活動の再開を見極め、従事する調理者に対して食中毒予防の観点から継続的に支援を行っていく必要があります。 ③災害時のペット同行避難者の受入れ体制が整備されていない地域防災拠点があるため、一時飼育場所の選定や、訓練の実施に向けた支援を行っていく必要があります。 ④飼い主のいない猫の相談が急増しています。地域猫活動の普及を図り、地域でこの問題に対応する体制を構築するため、ボランティアの協力を得ながらTNR活動の推進を図ります。							
根拠・データ等	【ボランティア登録数(8月末現在)10人】 【ボランティア・推進員活動状況】 令和2年度 活動地域18箇所 捕獲数292頭 令和3年度 活動地域11箇所 捕獲数106頭(8月末現在)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ハチ駆除件数	単位	目標	23	23	30	30	30	30
	件	実績	23	30				
講習会参加人数	単位	目標	300	300	200	300	300	300
	人	実績	383	72				
同行避難訓練参加人数	単位	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	人	実績	2,541	中止				
事業スケジュール	平成15年度 「動物との共生事業」事業開始 平成19年度 「食の安全事業」事業開始 平成24年度 「ハチの駆除サポート」「災害時ペット対策」事業開始 令和3年度 「飼い主のいない猫対策」事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ハチの駆除サポート事業	130	134	▲ 4	資材見直しによる減
	②	食の安全・安心サポート事業	280	351	▲ 71	検査数、既存品活用による減
	③	災害時ペット対策等啓発事業	54	60	▲ 6	既存品活用による減
	④	飼い主のいない猫対策事業	726	826	▲ 100	既存機器の活用及び使用実績による減
細事業合計			1,190	1,371	▲ 181	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生係
	古厩 忠良	算 佳世子	算 佳世子